

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

- ・リフォーム業を通じて地域社会に貢献する。
- ・お客様の思いを形にし、快適な生活空間を提供する。
- ・常に環境変化に適応したビジネスモデルを確立し、健全な企業活動と社員の幸福を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	◎現場で発生する産業廃棄物回収にかかるコストの削減。 ◎会社における紙ごみ・燃料排出量の削減。	◎現場→会社持帰ごみの30%削減 ◎社員1人あたりの紙ごみ量の20%削減 ◎車両1台あたりの燃料使用量の20%削減 →掲示板で共有し見える化する。
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	◎「リノゼント(リフォーム+プレゼントの造語)」をスローガンとしたお客様の思いのカタチ化推進。 ◎現場品質の更なる向上。	◎Google口コミ評価 2024年★3.8→2027年★4.5
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	◎働き方改革の確実な実践 ～チームワーク強化・生産性の向上・早期終業体制の確立～	◎管理職クラスの月間残業時間の削減 2024年平均42時間→2027年平均40時間 ◎業務効率化を図るシステムの導入。 2024年0件→2027年2件 ◎生成AI研修受講済み 2024年0人→2027年5人

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

お客様の暮らしを変え喜びを提供し、『リホーム熊本があって良かった』と熊本に必要とされる会社になります。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	お客様に信頼され、選択される企業風土構築。 工事情質の向上とお客様満足度向上。	・行動指針を”リホーム宣言”に明文化。 ・各種リフォームコンテスト出展。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・行動指針の明文化 →「自由・公正・透明・適切なルール」の方針として公表している。 ・各種リフォームコンテスト出展 →日本住宅リフォーム産業協会、各メーカーのリフォームコンテストへの出展を毎年行っている。	◎「リホーム宣言」の明文化およびホームページでの公表を実施済みである。 ◎以下のコンテストに2021～23年毎年出展 ・「JERCOリフォームコンテスト」 ・「TDYグリーンリモデルセール」 2022年 九州エリアDAIKEN音響部門優秀賞 ・「タカラ家事らくリフォーム作品コンテスト」 2021年～23年 キッチンリビング部門地区最優秀賞
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	・地球環境に配慮した住まい造りへの関わり。 ・産業廃棄物管理強化とリサイクル推進。	・グリーン住宅ポイント150万P ・月平均電力消費量10%削減 ・建設廃棄物等排出ごみの分別化徹底。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・グリーン住宅ポイントに代わる住宅補助制度の案内を毎年行っており、省エネ・節水商品の導入をお客様に勧めている。 ・電力消費量に関しては、弊社で把握できていない月があり、正確な削減量が出せなかったため、消費量の把握を進める。 ・廃材分別置き場を再整備し、有効活用できる廃材の量を増やす取組みを行っている。	◎グリーン住宅ポイント 2021年271万P→2024年1980万P ◎会社の電力使用量 2021年6373KWh→2024年4742KWh 25%削減 ◎品目ごとに分別しやすいよう会社廃材置場を再整備。(2021年)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	・「自由・公正・透明」を軸とした組織の活性化と人材育成。 ・働き方改革の確実な実践と従業員満足度向上。	・新人事制度の導入(2022年) ・週休二日制の定着化(2022年) ・けんぽヘルスター認定(2023年)
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・週休二日制実施済み。 ・社員1名につき上司社員1名のマンツーマンでの人材育成制度導入。 ・各社員が毎年「チャレンジシート」を作成し、スキルアップの正当な評価のための手法として取り入れている。	◎新人事制度の導入について ・育児休暇取得1名(2023年) ・就業時刻の変更(2024年) 8:30～18:00→8:30～17:30に30分短縮。 ◎週休二日制の導入(2022年) ◎けんぽヘルスター認定(2024年)

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。